Positive and Negative Effects of Status on Longevity: Evidence from the Two Comparable Literary-prizes in Japan

〈ssasaki.econ@gmail.com〉

佐々木　周作（大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程，日本学術振興会特別研究員）・明坂　弥香・黒川　博文・大竹　文雄

本研究の概要

背景

- ✓ **“社会的地位の上昇”** は **“余命”** に**正の因果効果**？　賞データを用いて検証
- ✓ 受賞者と非受賞候補者は、能力などの面でほぼ同質的だと仮定可能

課題

- ✓ アカデミー賞俳優賞　**＋3.9歳**　Redelmeier and Singh（2001a）
- ✓ アカデミー賞脚本賞　**－3.6歳**　Redelmeier and Singh（2001b）
- ✓ ノーベル化学賞・物理学賞　**＋1.6歳**　Rablen and Oswald（2008）
- ✓ メジャーリーグ殿堂入り　**－5.0歳**　Abel and Kruger（2005）

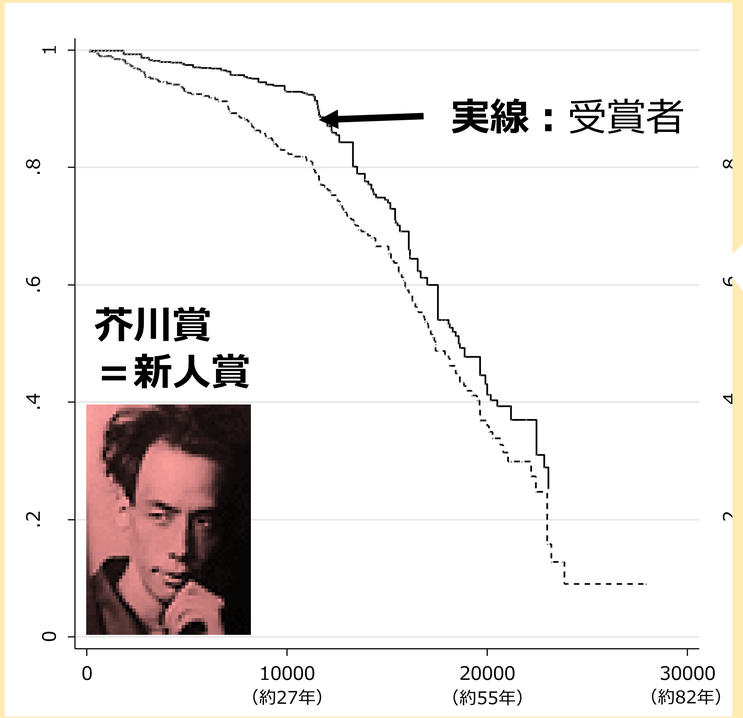
正と負両方の効果を示す結果が混在するのはナゼ

仮説

- ✓ **正の因果効果**と**負の因果効果**の**両方が存在**するのではないか？
- ✓ 社会経済的地位が脆弱なときの受賞は**延命効果**をもち、安定後の受賞は**短縮効果**をもつのではないか？

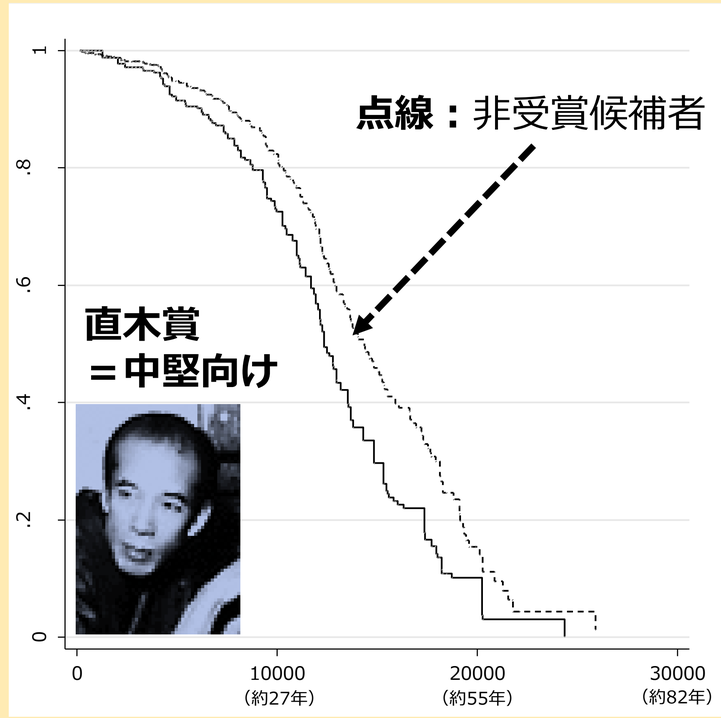
結果

ヨコ軸：初回ノミネート時点～死亡日の日数
タテ軸：生存率



新人賞である芥川賞の受賞は**延命効果**　☞　**＋2.4歳**（予測値計算）

写真出典：文藝春秋ホームページ（2016）



中堅向けの直木賞の受賞は**短縮効果**　☞　**－5.1歳**（予測値計算）

写真出典：文藝春秋ホームページ（2016）

仮説の背景

“社会的地位”

先行研究では：

経路①　経済的状態の改善↗（Williams 1990）

経路②　コントロール困難な仕事減↘
☞　心理ストレス減↘（Marmot et al. 1991）

経路③　不安や羞恥心の払拭↘
☞　メンタルヘルスの改善↗（Wilkinson 2000）

“余命や健康状態”

©いらすとや

本研究の観点：

経路①　改善効果は経済的地位が低いときに大きく上昇とともに逓減する？
（Mirowsky and Hu 1996; Easterlin 2004; Ohtake et al. 2010）

経路②　仕事による心理ストレスは社会的地位が上昇しても残る？（Damaske et al. 2016）

経路③　不安や羞恥心は社会的地位が上昇しても払拭されない？
（Ferrer-i-Carbonell and Frijters 2004; Ball and Chernova 2008）

仮説

社会経済的地位が “低い” とき
☞　①の正の効果＞②③の負の効果　☞　**延命効果**が検出

社会経済的地位が “高い” とき
☞　①の正の効果＜②③の負の効果　☞　**短縮効果**が検出

データ

仮説検証には、受賞タイミングだけが大きく異なる賞データが必要

	芥川賞	直木賞
共通点	日本を代表する、権威の高い文学賞 1935年に、菊池寛によって同時創設 年に2回開催され、現在で154回目に ノミネート者はノミネートを自覚 両方でノミネートされうるが、どちらか一方のみ受賞できる	
違い	**新人賞** 経済的基盤・社会的地位は未確立	**中堅以上の作家向け** 経済的基盤・社会的地位は確立済み
違い	**純文学** 経済的基盤を確立しにくい	**大衆文学** 経済的基盤を確立しやすい

記述統計の結果

平均値：	芥川賞 受賞者 (N=109)	芥川賞 非受賞候補者 (N=254)	直木賞 受賞者 (N=125)	直木賞 非受賞候補者 (N=220)
死亡時年齢	74.42	67.83	72.48	74.89
最終ノミネート時の年齢	37.70		44.82	
単行本数	4.83		15.62	

74.42 ＞ 67.83：延命効果？

72.48 ＜ 74.89：短縮効果？

37.70 ＜ 44.82：新人賞的 ＜ 中堅作家的

Cox比例ハザード・モデルの分析結果

〈時間依存性の考慮〉

健康的で長寿の人ほど**ノミネート**確率が高い

健康的で長寿の人ほど**受賞**確率が高い

A ノミネートあり／ノミネートなし

B 受賞あり／受賞なし

C 受賞効果の時間依存性

使用サンプルを候補者に限定

受賞時までを時間依存変数に

Simon and Makuch (1984)

受賞ダミーを時間依存係数に

Kleinbaum and Klein (2012)

		芥川賞	直木賞
ゼロ時点：	初回ノミネート時点		
芥川賞受賞：	30年が経過する前	**0.380*** **	
		(0.127)	
	30年が経過した後	**3.963*** **	
		(1.525)	
直木賞受賞：			**1.584*** **
			(0.254)
時間依存変数：	年齢	1.068***	1.093***
		(0.021)	(0.020)
	ノミネート回数	1.255***	0.842***
		(0.090)	(0.051)

芥川賞で死亡確率 **62%** ダウン。30年経過後は、**約4.0倍** までアップ。

直木賞で死亡確率 **58%** アップ